

Title	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫昭和四十七年度彙報
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1974
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.11 (1974.) ,p.429- 432
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000011-0429

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶応義塾大学
附属研究所
斯道文庫昭和四十七年度彙報

人 事

昭和四十六年十二月一日を以て、本文庫事務係長山口薫明君は普通部事務主任に、三田情報センター係員堀田信夫君が本文庫事務主任(課長待遇)に転任した。文庫長森武之助君の任期が昭和四十七年九月末日を以て満了したが、重任された。

用務員小牧宗司君は四十八年三月末日定年退職した。在職年数二十六年二月。中華民国国立故宫博物院副研究員兼図書館主任蘇篤仁氏は、日本学術振興会の昭和四十七年度の外国人流動研究員(申請者本文庫教授阿部隆一)として、九月来日、また本文庫の訪問研究員に任ぜられ、三ヶ月間阿部隆一教授を中心とする「漢籍総目録の編纂」の研究調査に参加し、一月帰国した。

文庫委員会

九月二十七日正午より、文庫長室に於て開き、文庫長より文庫の近況・研究状況及び計画等を報告し、文庫長以下の人事、文庫員の海外出張、文庫助手の服務内規等を審議決定した。

研究調査

前年度に引き続き左の研究題目を中心として、調査研究と副本作製を進めた。

一、国書の部

(1)平安時代和歌物語の研究

(2)中世物語の研究

(担当者 松本隆信・平沢五郎)

二、漢籍の部

(1)旧鈔本・宋元版の研究

(2)日本漢学の研究

(担当者 阿部隆一・太田次男・尾崎康)

特に本年度に於ける各文庫員の研究調査題目は左の如し。

阿部隆一

一、宋元版の研究

一、室町以前漢籍資料類の調査

太田次男

一、室町以前に於ける白氏文集受容に

ついでの研究(金沢文庫本を通じて)

(

松本隆信

一、室町物語の研究(本地物の研究)

平沢五郎

一、平安朝和歌物語の研究(金葉和歌集諸本の研究)

(

尾崎康

一、宋元版正史の研究

一、六朝隋唐時代撰述史書の研究

白石 克

一、日本古刊経の研究

継続中の中華民国(台湾)現存漢籍善本の調査及びそのマイクロ・フィルム將來の研究計画については、引き続きハーバード大学燕京研究所より、教授阿部隆一君に対し、一九七一一七二年度の研究補助金が交付された。後記の台湾出張による如く、第二目標たる宋元版の調査に着手し、国立故宮博物院・北平図書館蔵の当該本の調査をほぼ終了し、そのマイクロ・フィルムも漸次到着しつつあり、本計画は来年度を以て完了の予定となった。

教授阿部隆一君を代表者とする「漢籍目録の編纂(経部叢書類)」について、昨年到现在に於いて文部省の昭和四十七年度一般研究(B)の科学研究補助金を受けた。文庫員が右の研究題目に關聯して、本年度に於て公表せる主要なる研究成果は左の通りである。

阿部隆一 近世初
期以前 十七条憲法諸本解題
並校勘記(「斯道文庫論集」第十輯)
金沢文庫の漢籍(神奈川県立金沢文

庫刊)

太田次男 白氏文集金沢文庫本私見一
卷三十一を中心として(「史学」
四四—三)

内閣文庫見抄と「越抄」について(金
澤所蔵)
沢文庫研究(一八一—一)

松本隆信 室町時代物語大成第一(横
山重共編 角川書店刊)

平沢五郎 夢の通り路物語—蓬左文庫
蔵本影印—(山岸徳平共編解題 汲
古書院刊)

太田次男・松本隆信・平沢五郎・尾崎
康共編 諸本
対照 十七条憲法訓読並校異
(「斯道文庫論集第十輯」)

調査出張

上記の研究題目に關する諸本の調査及び複写撮影のため、都内及び近傍の諸所に出張したが、主な地方出張をあげれば、

六月四日—六日 陽明文庫蔵宋元版・
法隆寺蔵聖徳太子関係書調査 出張
者 阿部隆一
六月十二日・十三日 名古屋大学附属

図書館・犬山市赤木文庫・大垣市立
図書館蔵聖徳太子関係文献及び白氏
文集古活字版調査 出張者 太田次
男

六月廿五日—廿七日 蓬左文庫・奈良
国立博物館・天理図書館・法隆寺
聖徳太子関係文献・宋元版調査 出
張者 阿部隆一

七月八日—十八日 小浜市立図書館蔵
崎門学派図書館調査並びに複写 出張
者 阿部隆一・井上善一

九月十日—十二日 京都市広隆寺・京
都大学附属図書館蔵聖徳太子文献並
に宋元版調査 出張者 阿部隆一
九月廿七日—十月三日 新発田市立図
書館蔵崎門学派図書館調査並びに複写
出張者 阿部隆一・井上善一

十一月四日—七日 蓬左文庫・神宮文
庫蔵漢籍調査 出張者 阿部隆一
十一月九日—十二日 足利学校遺蹟図
書館蔵宋元版調査 出張者 阿部隆
一・尾崎康・大沼晴暉
十一月十八・十九日 群馬県世良田長

楽寺文書調査 出張者 太田次男

十一月十九日―廿二日 蓬左文庫・天

理図書館蔵漢籍調査 出張者 阿部

隆一

十一月廿四日―廿六日 足利学校遺蹟

図書館蔵漢籍調査 出張者 阿部隆

一

十一月卅日―十二月二日 大谷大学図

書館蔵宋版大藏經調査 出張者 白

石克

十二月十一日―十三日 天理図書館・

陽明文庫蔵白氏文集調査 出張者

太田次男

十二月十三日―十七日 蓬左文庫・陽

明文庫・京都大学人文科学研究所・

大垣市立図書館蔵漢籍調査 出張

者 阿部隆一・尾崎康

三月十三日―十五日 名古屋市鶴舞中

央図書館・蓬左文庫・陽明文庫・京

都大学附属図書館・京都国立博物

館・穂久辻文庫蔵白氏文集関係資料

調査 出張者 太田次男

三月廿二日―廿六日 大谷大学図書館

蔵思溪版大藏經の調査 出張者 尾

崎康

海外出張

昭和四十四年度より開始された中華民
国現存漢籍善本調査並にそのマイクロ・
フィルム複写のため、阿部隆一君は、昭

和四十八年二月七日第四次調査に出発、

台北に滞在し、国立故宫博物院・国立中

央図書館を中心として、宋元刊本の調査

斯道文庫講座

本年度より、専門研究者の養成を主眼
として、大学院生を対象として、「斯道

文庫講座」を新に開設した。同講座は本

大学大学院文学研究科の履修単位として

認められる。本年度の講座題目は

我が国に於ける漢籍の伝流について

阿部隆一

中世における本地物の研究 松本隆信

四十八年三月現在、その整理を完了

し、登録せる本年度の図書増加数は、一、

九八六冊、うち寄贈書は一二六冊、斯道

文庫賛助員会寄附金による購入本は十三

部七二冊、累計九万六十三冊、他に寄託

図書二万八千冊、計十一万八千六十三

冊。外に本年度の逐次刊行物の増加は四

種である。

昭和四十七年度文部省私立大学研究設

備整備費補助金により、中国史学・方志

の叢書類一、一七九冊（台湾刊行物）を

購得した。

本年度の主な寄贈者（定期刊行物を除

く）の芳名を左に録して、感謝の意を表

す。

古典研究会殿 大阪府立図書館殿 亀

山聿三殿 京都大学人文科学研究所殿

天理図書館殿 華民国国立故宫博物

院殿 同国立中央図書館殿

本文庫賛助員会寄附金による主な購入

本は、

橘守部自筆稿本万葉集墨繩卷一 一冊

同 蓬萊園記 一冊

森立之・楊守敬自筆問答清客筆記 十

一冊

元刊明修本隋書 四十冊

元刊春秋師説 一冊

文献複写

マイクロ・フィルムによる副本作製は、公私の文庫所蔵本について行い、その全巻を撮影せる現蔵量は三月末現在整理登録を完了せるもの、累計百呎ネガフィルム五三三リール、ポジフィルム四九四リールに達した。

この撮影は本文庫の研究事業計画に賛意を表され、貴重なる所蔵本の複写を許可された所蔵者各位の厚意によるもので、その主な芳名を録して、感謝の意を表す。

小浜市立図書館殿 新発田市立図書館殿
陽明文庫殿 神宮文庫殿 中華民国国立故宫博物院殿

刊行事業

一、斯道文庫論集 第十輯（諸本対照十七条憲法訓読並校異特輯専刊）A5
判三四頁 十二月一日発行

昭和四十九年八月一日発行

編輯兼発行者

東京都港区三田二一五―四五

慶応義塾大学
附属研究所

斯道文庫

電話（四五三）四五一一番

頒価 四、〇〇〇円